



とぎのこえ Good News for Japan

平成二十九年十月一日発行
昭和二十二年一月二十四日(第三種郵便物認可)

明治二十八年創刊 毎月一日・十五日発行

聖書の感化力 山室 軍平

映画『地の塩 山室軍平』公開記念特集号

大正5年発行『聖書の感化力』を抜粋引用し、現代の言葉で再編集しました



山室軍平のタブレットがある同志社大学クラーク記念館(関連記事2,3ページ)



聖書は、ただ読んで満足するべきものではなく、進んで信じるべきものです。ウイリアム・ブース(救世軍創立者のこの世での最後の言葉は、「もしあなたが信じるなら、神の約束は確実です」でした。聖書は、神様が人間に授けてくださった約束書のようなものです。私たちが罪に悩む時、誘惑に苦しむ時、貧乏、病氣、災難、失敗、迫害、死の恐れ等に心悶える時、その他どんなとき、どんな場合でも聖書の中にはふさわしい慰めと守りとお約束があります。素直に信じて神様にすがらるなら、神様は必ずそ

の信じておりに私たちに応えてくださいます。ですから、私たちも聖書を読むだけでなく、信じ、その教えのすばらしさを自分自身で経験しなくてはならないのです。聖書に「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いです(ルカによる福音書1章45節)、また「もし信じるなら、神の栄光が見られる」(ヨハネによる福音書11章40節)とあるように、私たちは、あくまでも聖書の御言葉(みことば)を信じなくてはならないのです。かつて一人のスリがいま

した。東海道から東北へかけて、主に汽車の中で仕事をしていたが、今まで十二回刑務所に入れられた。その彼が、十三回目に神戸で捕まり、判決を待つ間に一人の商人と同室になりました。その商人は軽い罪だったので、関係書類を家から取り寄せれば無罪になるに違いない、と家に「書類」を差し入れるよう手紙を送ったのでした。ところが妻は字が読めず、近所の人に読んでもらったところ、その人は、「書類」を「書物」と読み違えました。妻は、刑務所での退屈を本で紛らわそうとしていたのだらう、厚くて安いものを、と神戸の町を探し回り、一冊の新約聖書に出合ったのでした。差し入れを受けた商人は、「書類」を頼んだのにこれは何だ? とそばにいるスリに見せました。スリは、イエスの、キリストだの書いているから、キリスト教の書物に違いないと言いがら、マトイによる福音書から読んでみたのでした。最初、彼はさっぱりその意味がわかりません。それでもどんどん読んでいくと、九章一二節以下の

「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。……わたしが

来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」との言葉に、彼は電気に打たれたように感じたのでした。そして、きつとこれは一人の偉いお方がいて、私のような罪深い者を救うためにこの世に来てくださったに違いない、と。以来、しきりにそのことを思い巡らしていました。まもなく、一方の商人は無罪の判決を受け、その聖書を持って出所してしまいました。スリは新約聖書の続きが読みたくなってたまらなくなり、必死で願ひ出たので許され、聖書を手に入れることができました。その後彼は新約聖書を読破し、釈放された時には、はるばる東京や横浜から昔の仲間が迎えに来たのを追いつき、数日考えあぐねた後、ついにある日教会を訪ねたのでした。そして、イエスによる救いの話を聞き、以来心を悔い改めて真面目なクリスチャンとなったのです。その後、三十年経た今では、自分で釈放者保護の働きをするようになるほどに変えられたの

で、主に汽車の中で仕事をしていたが、今まで十二回刑務所に入れられた。その彼が、十三回目に神戸で捕まり、判決を待つ間に一人の商人と同室になりました。その商人は軽い罪だったので、関係書類を家から取り寄せれば無罪になるに違いない、と家に「書類」を差し入れるよう手紙を送ったのでした。ところが妻は字が読めず、近所の人に読んでもらったところ、その人は、「書類」を「書物」と読み違えました。妻は、刑務所での退屈を本で紛らわそうとしていたのだらう、厚くて安いものを、と神戸の町を探し回り、一冊の新約聖書に出合ったのでした。差し入れを受けた商人は、「書類」を頼んだのにこれは何だ? とそばにいるスリに見せました。スリは、イエスの、キリストだの書いているから、キリスト教の書物に違いないと言いがら、マトイによる福音書から読んでみたのでした。最初、彼はさっぱりその意味がわかりません。それでもどんどん読んでいくと、九章一二節以下の

来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」との言葉に、彼は電気に打たれたように感じたのでした。そして、きつとこれは一人の偉いお方がいて、私のような罪深い者を救うためにこの世に来てくださったに違いない、と。以来、しきりにそのことを思い巡らしていました。まもなく、一方の商人は無罪の判決を受け、その聖書を持って出所してしまいました。スリは新約聖書の続きが読みたくなってたまらなくなり、必死で願ひ出たので許され、聖書を手に入れることができました。その後彼は新約聖書を読破し、釈放された時には、はるばる東京や横浜から昔の仲間が迎えに来たのを追いつき、数日考えあぐねた後、ついにある日教会を訪ねたのでした。そして、イエスによる救いの話を聞き、以来心を悔い改めて真面目なクリスチャンとなったのです。その後、三十年経た今では、自分で釈放者保護の働きをするようになるほどに変えられたの

来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」との言葉に、彼は電気に打たれたように感じたのでした。そして、きつとこれは一人の偉いお方がいて、私のような罪深い者を救うためにこの世に来てくださったに違いない、と。以来、しきりにそのことを思い巡らしていました。まもなく、一方の商人は無罪の判決を受け、その聖書を持って出所してしまいました。スリは新約聖書の続きが読みたくなってたまらなくなり、必死で願ひ出たので許され、聖書を手に入れることができました。その後彼は新約聖書を読破し、釈放された時には、はるばる東京や横浜から昔の仲間が迎えに来たのを追いつき、数日考えあぐねた後、ついにある日教会を訪ねたのでした。そして、イエスによる救いの話を聞き、以来心を悔い改めて真面目なクリスチャンとなったのです。その後、三十年経た今では、自分で釈放者保護の働きをするようになるほどに変えられたの

謹んで被災された方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い心の平安の回復と、被災地の復興をお祈り申し上げます。

ああ、神様の摂理は驚くべきもの、そのご慈愛はいかに大いなるものでしょう。私が貧しさに困っていたとき、神様は私の小さな祈りを聞いてくださり、学費を与えてくださり、学費を聞いた。聖書のコリントの信徒への手紙一 一三章の教えをそのまま実行する一人の友を起してくださったのです。彼をして、驚くほど献身的にこの愛を実行せしめ、私を助けるようにしてくださいました。私は、このことよって、全くイエス・キリストに捕らえられたと思えました。こんなことがあった以上、私はもはや名誉も利益も権力も一時の安逸も求めることなどできなくなりました。自分も神様と人とを愛するためにだけ生き、働き、苦しみ、そして死のうと思つたのでした。

聖書を、信じるだけでなく、これに従うことによつて神の国における勝利者となることのできるのです。お互いにそのような生き方を、と切に祈るものです。

見えざる神の手に動かされ、従った、地の塩 山室軍平

同志社大学社会学部教授

木原 活信

※山室軍平のふるさと2005年の合併による新見市となった。写真は阿哲氏。



山室のふるさと新見市の山村

人生は偶然か必然か

一八七九(明治12)年に同志社の創立者新島襄が最初の卒業生に送った言葉は以下のような英語でした。

「Go, go, go in peace. Be strong! Mysterious Hand guide you!」(平安のうちに行ってらっしゃい。強くあれ。見えざる神の手があなたを導いてくれるでしょう。)

この言葉に、新島は、国禁を犯してアメリカに渡り、そこで神を見いだし、以後



新島 襄

だし、それに応答し、命がけでその使命のために感謝と喜びの人生を生きるよう

不思議な数々の出会いによる冒険的な人生を送った、自らの体験とを重ねたので

人との出会いによって人生はあらゆる方向に導かれていくものです。それを偶然と思う人もいれば、必然と思う人もいます。その結果は対照的です。偶然と思う人は、成功すればいいのですが、うまくいかない場合自らの人生を恨むか、運命とあきらめます。その一方で、必然と感じる人は、表面的成功や失敗にとらわれず、不思議な導きの背後

見えざる手に

導かれた生涯

近代日本における福祉の偉大な先覚者、山室軍平の生涯は、神との不思議な出会いによって動かされ、それに応答した人生であったと言えます。

その原点は青年期のキリスト教との出会いでした。すべてはそこから始まります。

山室は、一八七二(明治5)年に岡山の貧しい家庭に生まれましたが、九歳の時に養子に出されました。しかし、高等小学校卒業後、更に勉強をしたいという願いが受け入れられず、東京へ

家出します。

孤独、貧困、労苦に喘ぎ、迷走する青年期に、路傍伝道で福音に触れ、一八八七(明治20)年にクリスチャンになります。このキリスト教との出会いを起点に、次々と奇跡とも思われるような出会いや不思議な物語が始まるのです。

創造者なる神を知った人間は、その導きを求めて生きるようになりますが、山室はまさにそのような人物でした。

まことの友情

一八八六(明治19)年に、イギリスの孤児院経営者、伝道者であったジョージ・ミューラーが来日し、同志社で講演しました。クリスチャンとなった山室は、その時の講演録『信仰の生涯』という小冊子を偶然読みましたが、魂を揺さぶられるように、それに強い衝撃を受けました。そしてすぐに新島襄を慕い、同志社で学ぶ決心をします。通常であれば、貧苦に喘ぐ山室が払える学費などありませんので、単なる願いだけで終わ

ってしまうものです。

しかし、奇跡的に同志社で学ぶことができました。それは、吉田清太郎(後に牧師となる)という人物による、全面的な支援のお蔭でした。当時同志社の学生であった吉田は、山室の純粋な魂に触れ、彼こそが将来の日本キリスト教界を背負って立つ選ばれた人物だと直感しました。この吉田の直感と見立ても鋭いものですが、俗っぽい言い方をするならば、山室という人物に心底惚れ込んだのです。そこで祈りのなかで、葛藤しながらも、山室の学費を全額受け持つ決意をします。それも匿名によってです。そのため、吉田自身は生活も困り果て、飢え死にしようという日々を送ることになりました。京都御所で死んでいた猫を食べて飢えを凌いだという逸話はあまりにも有名です。「友のために命を捨てる」(聖書の言葉)という決心をした吉田も吉田ですが、山室自身にそれをさせようなど不思議な魅力があったとも言えるでしょう。

「不可能を

可能にさせる」神の導きがあったと言わなければならない。旧約聖書に出てくるダビデとヨナタンの友情を彷彿とさせます。当時、サウル王の息子として将来の王になるはずの王子ヨナタンは、自分ではなくダビデこそ次の王になることを確信し、自らが王になることを断念します。そして命を狙う父サウル王からダビデを救い出しました。歴史が示すようにヨナタンは死に、ダビデがイスラエルの王の座に就きます。ヨナタンの犠牲的な友情によって、ダビデの命は生かされるのでした。

ヨナタンがいなければダビデはなかったように、吉田清太郎がいなければ山室軍平はなかったと言っても過言ではありません。

同志社での山室

こうして山室は同志社で一八八九(明治22)年から一八九四年まで五年間学びますが、一八九〇(明治23)年新島襄の死後、試験に立たされることになりました。新島没入された自由主義神学に影響されたことに猛反発し、涙ながらに、一八九四(明治27)年、同志社を中退して飛び出すのでした。

ところで、同志社大学の



クラーク記念館のタブレット

濃尾震災の犠牲者

クラーク記念館(旧神学館)に山室軍平を記念して「神と人道との為」と銘打ったタブレットが飾られています。これは、宣教師デービスの息子ジェローム・デービスの寄付記念に設置されましたが、設置の趣旨が「同志社出身者中最大なる人物」を記念するというものでした。多くの名だたる卒業生の候補者のなかで、なんと山室が選ばれたのです。これは、「同志社人」としての最高の荣誉でありましたが、一方でアイロニー(皮肉なこと)でもありました。なぜなら、山室は同志社の卒業生ではなく中退者だからです。この「偉大なる中退者」が、「最大なる同志社人」とされたのです。実に不思議な話です。

私共は分家である。「一九三二年、山室軍平還暦を祝う会での祝辞より」つまり中退者ではありませんが、山室こそ同志社精神の体現者であり、新島精神の継承者であったという評価は変わらないものでした。救世軍の山室 同志社を飛び出した山室は、故郷岡山に戻り高梁教会で伝道師をしますが、客観的にみれば挫折した一人の浪人者でしかありません。生涯の友となる石井十次は、彼の挫折と涙を受け止めてくれました。石井十次は、岡山孤児院を創設し、日本の児童福祉の父と言われ、山室と並んで三大社会事業家の一人として数えられる人物です。この石井も、医学部卒業寸前で、ジョージ・ミュラーの信仰に影響を受けて孤児院経営に専念するために、断念した、挫折経験をもっていました。キリストにあつて大志を抱く青年二人は意気投合し、互いに祈り合い、励まし合つて、神の導きを求めました。一八九一(明治24年)の濃尾震災の犠牲者

の救済に真つ先に出かけ孤児を救済したのもこの二人でした。山室は、石井を通して、「偶然」にも彼のライフワークとなる救世軍に出会いました。いやそれはむしろ神が巡り合わせた必然的な出会いであつたと言ふべきでしょう。一八九五(明治28年)に救世軍に入隊します。もちろん、最初から山室は救世軍に入ろうと思つたわけでもなく、むしろそれに懐疑的でした。しかし不思議な神の導きにより、紆余曲折を経て、この働きが彼の生涯の働き場、命の捨て場であると確信していきました。社会の底辺に苦しむ人々を救済する、労働者や普通の人々にわかりやすくキリストの福音を伝える、これが同志社を飛び出す際に公言した彼の神への誓いであり、使命でしたが、まさにこれを実現する働きこそが、救世軍に他ならないことに気づいていくのでした。救世軍に入隊を決意した山室に、盟友の石井十次は、「君は今、其の多年探して居つた合鍵を、やつと見出したのである。謹んで君の今後を祝福する」と心から喜び、彼に手紙を送っています。



1896 (明治29)年、救世軍に導かれて間もない頃(前列左から2番目)

また、その後、伴侶となる機恵子とも出会い、二人は同志として大衆に福音を宣べ伝え、最暗黒であり社会の闇であつた遊郭の廃止や、最底辺に苦しむ人々を助けるために様々な社会問題に立ち向かうのです。それに関する多くの著作を残し、神に人生を献げ、救世軍を通して「地の塩」として多くの人々をキリストのもとに導いたのでした。神の備え アドナイ・イルエ 岡山の田舎から出た一人の身寄りのない家出少年が、路傍伝道でキリスト教に出会い、ジョージ・ミュラーの信仰に触発され、新島襄に出会い、同志社で学び、そこで挫折しながらも石井十次に出会い、そして救世軍の働きに導かれ、そしてそこで、水を得た魚のように、伝道者としてキリスト



映画『地の塩 山室軍平』 監督 東條政利 山室軍平の所業について勉強していく中で、彼が成し遂げたことや功績についてよりも、人々を救いたいという情熱をもつて生きた

を伝え、また日本の社会福祉の基礎を根本からつくりあげるような大きな歴史的働きをしました。確かに一つひとつは偶然の出来事のようにですが、実は神の見えざる手が導いていることは明らかです。聖書のなかに 「アドナイ・イルエ」(主の山に備えあり)新改訳聖書 という言葉があるとおり、そこには不思議な「見えざる神の手」を通して「備え」が用意されていたのです。

山室が偉大であり、奇跡的であり、特別な人物であつたのは事実ですが、一方でそれは例外的というよりも、実は、神に従うことによつて得られる祝福の一つの典型的な人生の一例に過ぎないとも言えるのです。山室自身きつとそう感じていたのでしょうか。大切なのは、私たちが今のこの時代に見えざる神を信じ、それに目を向けるかどうかということに尽きるのではないのでしょうか。

人の人間ドラマとして描いたほうが面白いなと感じて、そういう映画にしたいと思ひました。 山室軍平は世のため人のために正しいことをした、という教訓ではなく、軍平が自分の情熱を真っ直ぐにぶつけて、それを貫き通して生き抜いたことこそが魅力じゃないかと思ひます。 その面白さを感じてもらえたら嬉しいですね。

クリトリ ご住所 □私の近くの救世軍を紹介してください。 □キリスト教についてもっと知りたいです。 □「ときのかえ」の購読を申し込みたいです。 裏 この部分を封書か葉書に貼り、面下の救世軍にお送りください。

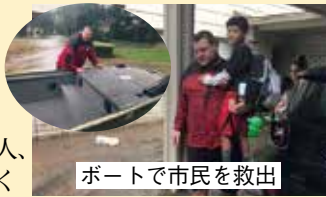
創立者 ウィリアム・ブース 大将 アンドレ・コックス (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナード (救世軍本営 東京都千代田区) http://www.salvationarmy.or.jp



世界をみつめて

〈アメリカ〉ハリケーン「ハービー」の被災地支援

8月25日、テキサス州南部にハリケーンが上陸し、一帯に500年に一度と言われる洪水被害をもたらしました。死者47人、4万3千人以上が避難を余儀なく



ボートで市民を救出



されています(9月5日現在)。ハリケーン「ハービー」は、一時、ハリケーンの大きさとしては上から2番目の「カテゴリー4」を記録しました。その後、温帯低気圧になったものの、進行速度が遅く、断続的に雨を降らせて移動し、各地に被害をもたらしました。特に、ヒューストンは5日間降り続いた雨によって深刻な冠水被害に見舞われ、2万人以上が避難せざるを得なくなりました。ヒューストンや近隣の救世軍は避難所を開設し、食事や衣服を提供しています。

また救世軍は、アメリカ、カナダの緊急災害支援車両を総動員して、被災地への食料や日用品の配布、避難所や精神的ケアの提供など、様々な支援活動をおこなっています。この災害の影響は数カ月続くとみられ、復興には何年もかかると予想されますが、救世軍はこれらの地域での支援活動を、必要がある限り続けていくことを表明しています。

〈シエラレオネ〉大雨による地すべり被災者支援

8月、西アフリカ大西洋岸にあるシエラレオネ共和国の首都フリータウンを中心に、大雨による大規模な地すべりが起こりました。この災害で、400人近い人が命

を失いました。近くのリージェントの町では、たくさんの家が土砂に埋まり、約600人が行方不明になっています。推定によると、全体で3000人が家を失ったということです(8月16日現在)。救世軍は、政府機関やシエラレオネ赤十字、また他のNGOと協同で、200家族に食事や調理用具、毛布などを提供しました。また、救世軍の国際本部を通して寄付金を受けつけるとともに、被災状況の調査と支援内容を検討し、長期の支援を目指しています。

〈日本〉九州北部豪雨被災地支援

7月5日(火)、6日(水)にかけて豪雨の被害を受けた福岡県朝倉市杷木地区の公民館で、救世軍九州地区の士官(伝道者)たちが、食料品配布の支援をおこないました。九州キリスト教災害支援センター(九キ災)のスタッフやボランティアの協力を得て、地域の住民と泥出し作業等のボランティアの方々へ、手作りの弁当、冷たいお茶、ゼリーや個包装の梅干を提供(43食)。その他、九キ災日田ベースに、パウチタイプのスポーツ飲料を150個届けました。



手作りの弁当を用意

映画『地の塩 山室軍平』各地で上映開始!

世の苦しむ人々を救いたいとの情熱を捧げて生きた山室軍平と同志たちの物語

山室軍平—日本人最初の救世軍士官(伝道者)であり、キリスト教伝道とともに、明治・大正・昭和初期における社会福祉、医療の面に大きな足跡を残した人物。その生涯と、日本における救世軍の草創期を描く。

10月21日(土)~ロードショー
東京・新宿武蔵野館
岡山・シネマ・クレール丸の内
その後、順次 京都・みなみ会館、大阪・第七藝術劇場で上映



軍平役 森岡龍と妻機恵子役 我妻三輪子



軍平の母役 渡辺梓

出演：森岡龍、我妻三輪子、辰巳琢郎、伊壽充則、水澤紳吾、堀内正美、渡辺梓 他
監督：東條政利
制作：現代ぶろだくしょん
製作：山室軍平の映画を作る会

世界最高峰の救世軍金管バンド ニューヨーク・スタッフ・バンド 来春、29年ぶりに来日!



3月20日(火)19:00 ニューヨーク・スタッフ・バンド・コンサート in 大阪
ザ・シンフォニーホール (S席4000円、A席3000円、B席2000円)
22日(木)18:30 第2回 救世軍チャリティコンサート「子どもたちの未来のために」
東京オペラシティコンサートホール(招待券方式・応募受付中 12月末締切)
23日(金)18:00 ニューヨーク・スタッフ・バンド・コンサート in 東京
ギャラクシティ西新井文化ホール(1,000円・全席自由)
24日(土)12:00 千代田区プラスフェスに参加、パレードもあり

お問い合わせは、救世軍本営 NYS B2018 ツアー事務局 (03-3237-0838) へ

救世軍とは

プロテスタントのキリスト教会で、世界百二十八の国と地域で活動しています。



創立者はイギリスのメソジスト教会牧師だったウィリアム・ブース。一八六五年、ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々の物心両面からの救いをめざし、働きが始まりました。そして、助けを必要としている人々のニーズに迅速に対応するために、軍隊流の組織をとりましました。

日本での働きは、一八九五(明治28)年に始まりました。その当初から、刑を終えて出てきた人々の保護や職業訓練、災害被災者支援、麻痺運動の推進、結核療養所の設立、子どもの保護などをおこない、社会福祉史に先駆者として、その足跡を残しました。現在は、四十三の小隊(教会にあたる)と十一の分隊(伝道所にあたる、十九の社会福祉施設、二つの病院(ホスピス併設))を通して働きを進めるとともに、街頭生活者支援や災害被災者に対する救援及び復興支援などをおこなっています。

(取扱支部)

救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。

発行日及び定価

発行日 毎月一日・十五日
定価 一日号一部四〇円(六六円)
十五日号一部六〇円(六六円)
クリスマス特集号十二月一日号
一部一〇〇円(七七〇円)
一年分二六〇円(送料七五〇円)
振替 〇〇一八〇一五四四〇〇

発行兼印刷人 救世軍 代表者ケネス・メイナード 寺澤 真由子

編集人 101-0051 東京都千代田区 神田神保町一十七

電話 東京(03)三三七〇八八一

発行所 救世軍本営

印刷所 図書印刷株式会社

(この欄に通信文を書くと第三種扱いになりません)